

歌う看護師・若菜健介さんから心の点滴うけました

千葉市内の病院でICUの看護師さんをしなが、1年前にアーティストデビューした若菜健介さんの弾き語りライブが、6月28日（金）午後6時半から外来ホールで開かれました。病院でのコンサートは初めてなので緊張していたという若菜さんですが、のびやかで爽やかな歌声が響くと、患者さんたちはしばし日常を離れた世界に憩うかのようで、拍手喝采。キーボードとパソコンを駆使して、時にはノリノリ、時には切々と歌いかけ、あっという間の45分のワンマンライブとなりました。

岡本真夜の『TOMORROW』から始まって、アップテンポの『歩いて帰ろう』や『上を向いて歩こう』、



オリジナル曲としてお父さんとの思い出を綴った『ゆりの花』、大好きなバイクを題材にした『ヒーローライダー』、患者さんから教えてもらった感謝の気持ちを歌にした『ありがとう』など8曲を熱唱。若菜さんに「手拍子で参加を！」と促された患者さんたちは、皆さん一生懸命手を打ってくださり、『上を向いて歩こう』や『ふるさと』は一緒に歌っていただきました。参加された患者さんからは「ずっと寝ているだけだったので、こんな素敵な音楽が聴けて、メリハリができました」「カメラが趣味で新しいカメラを持ってきていたので、撮ってみました。音も録音できて良かった」という声が寄せられました。患者さんの手術が終わるのを

待っているご家族が、スターバックスでお茶を飲んでおられました。たまたま若菜さんの歌声を聴いて、いつのまにか前の席に移動して、携帯で撮影したり

「心に響く歌が聴けて良かったです」と、終演後の若菜さんに声をかけ、握手を求めていらっしゃいました。若菜さんも「皆



さんに喜んでいただけて、こちらが元気になりました！」と笑顔で応えていらっしゃいました。